

JR 広島病院

【当院の特性・特徴】

JR 広島病院は広島駅近傍に位置し、交通の要所にあり、広島市東区はじめ近隣地域の診療所等諸施設と連携し、主として急性期医療を担当する中規模病院です。当院は半世紀以上にわたって、旧国鉄および JR 西日本直営の「広島鉄道病院」として近隣地域の皆様に親しまれてきました。インターン制度が廃止され旧臨床研修制度が施行された 1968 年に臨床研修病院に指定されました。そして、2004 年度から施行された新臨床研修制度の下での基幹型臨床研修病院としてマッチングに参加しています（2023 年度マッチング定員 4 名、広島大学病院たすきがけプログラム定員 2 名）。2015 年 10 月に旧病院東側に、人工透析部門、化学療法センターおよび緩和ケア病棟を含む現病院が新築され、2016 年 1 月 18 日より現病院にて診療を開始し、同年 4 月 1 日に当院は JR 西日本から分離され、医療法人である「医療法人 JR 広島病院」が開設する JR 広島病院としてスタートしました。

当院は東区唯一の総合病院であり、主要 5 大がんや泌尿生殖器等のがん治療、脊椎等運動器疾患や循環器疾患の治療等の高度医療、および近隣地域の診療所の後方支援を主体とした 2 次救急医療を担っており、幅広く多彩な症例を経験することができます。2015 年 10 月に、当院から至近距離に開院した広島がん高精度放射線治療センター（HIPRAC）との連携が始まり、がんの集学的治療が可能になりました。2017 年 4 月に院内に救急センター開設、2019 年 3 月末には地域医療支援病院の名称使用を承認され、2 次救急医療はじめ地域医療を支援する体制が充実しました。

すなわち、当院は症例の多彩さと交通の便の良さを兼ね備えた、地方都市型の中規模臨床研修病院です。

【当院での研修について】

以下の診療科より、診療参加型あるいは従来型を選択し、全人的医療の実践の中で研修を行う。

1. 消化器内科
2. 循環器内科
3. 呼吸器内科
4. リウマチ・膠原病内科
5. 外科
6. 整形外科
7. 人工透析外科
8. 泌尿器科
9. 耳鼻咽喉科
10. 緩和ケア科
11. 病理診断科

【当院 HP】 <https://www.jrhh.sakura.ne.jp>

【実習責任者】 教育研修部長（診療部臨床検査科主任部長（兼務）） 中山 宏文

【連絡先】 事務部総務企画課 事務係 河野 有紀 Tel:082-262-1170、Fax:082-262-1499

消化器内科

【消化器内科の特性】

1. 当院は広島市東区の中核病院であり、また広島駅に近接する立地条件から遠方からも来院されているため、診療する症例は豊富である。
2. 救急疾患にも対応しているため、上部・下部消化管出血や急性腹症などの救急疾患も経験することができる。
3. 消化管内視鏡診療も積極的に行っており上部・下部消化管内視鏡検査および超音波内視鏡検査を経験でき、診断法も体系的に学ぶことができる。また消化管内視鏡治療も多くの症例を経験できる。

【一般目標】

1. 診療チームに参加し、その一員として診療業務を担当することによって、医師としての職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を学ぶことを目標とする。
2. 消化器内科では消化管疾患、肝臓疾患、胆膵疾患の診断と治療を専門とする診療科である。疾患は多岐にわたるが癌診療では内視鏡診断・治療および化学療法など、炎症性腸疾患などの炎症性疾患では炎症、免疫の病態に関する理解と、全身を広く見渡す診療姿勢、および免疫抑制療法の選択と管理について学ぶことを目指す。また、内視鏡治療全般に関しては病変の診断および治療法の適応について理解する。

【実習目標】

1. 病歴の聴取や患者診察など、内科診療の基本を学習する。
2. コミュニケーションを通じ、患者および家族と良好な人間関係を築き、診療に必要な情報を収集、取捨選択して整理する。
3. 問題指向システムについて理解し、実行する。
4. 臨床検査、内視鏡・放射線・超音波画像診断などを理解する。
5. 消化器内科疾患に特徴な身体所見・検査所見について学習する。

【実習内容】

1. 指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、主治医の1人として入院から退院までの医療に参加する。具体的な診療行為については、指導医の指示を仰ぐ。
2. 病歴聴取や診察で得た所見、また、その後行われた検査の結果や今後の治療方針など、主治医がカルテに記載すべき事柄については、すべて学生用の紙カルテに記載し、主治医として実際に診療を行っているつもりで記載する。
3. 見学した症例の検査所見を理解する。

【当科の週間スケジュール】

	行事、等	場所	時間
月	オリエンテーション（第1週） 内視鏡診療	内視鏡センター	9:00-12:00 13:30-17:00
火	外来 内視鏡診療・回診	外来 内視鏡センター・病棟	9:00-12:00 13:30-17:00
水	外来 内視鏡診療・回診	外来 内視鏡センター・病棟	9:00-12:00 13:30-17:00
木	内視鏡診療	内視鏡センター	9:00-12:00 13:30-17:00
金	回診 まとめ	病棟 医局	9:00-12:00 13:30-17:00

【評価】

消化器内科では実習目標に掲げた5つの点について、各20%の配分で評価します。

循環器内科

【当院循環器内科の特性】

- 1) 当院は広島市東区の基幹病院であり、東区のみならず安芸郡府中町なども医療圏として抱えており、診療する症例は豊富である。
- 2) 緊急疾患にも対応しているため、循環器内科の醍醐味である急性冠症候群や急性心不全（慢性心不全の増悪）などの循環器の緊急疾患にも経験することができる。
- 3) 冠動脈疾患においては冠攣縮性狭心症の診断および高血圧症における副腎性などの二次性高血圧の診断などの症例も豊富であり、診断を一緒に行うことによりかかる症例の診断法を体系的に学ぶことができる。
- 4) 院内の急変時の対応を学ぶ ICLS コースを院内で定期開催している。興味があれば参加してもらうことにより急変時の対応を学ぶことができる（参加費無料）。

【一般目標】

- 1) 医療者の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考法、態度を、自らの実践の中で学ぶ。
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者およびその家族と良好な対人関係を築いて診療を進めることができるようになることを目指す。
- 3) 講義で学んだ知識を再確認し、また、講義では得られなかった、より実践的な知識を身につける。
- 4) 担当する患者の問題の理解に、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用でき、病因・病態の理解から診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につけることを目指す。
- 5) 実際の医療に直接接するなかで、自分の将来の医師像を具体的に構築する。

【到達目標（行動目標）】

- 1) コミュニケーションを通じ、患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。
- 2) 基本的な診療知識に基づき、患者および家族から診療に必要な情報を収集し、取捨選択して整理できる。
- 3) 身体診察を適切に実施し、所見を解析してその後の診療に必要な情報を収集できる。
- 4) 主要な症候を理解し、鑑別診断の原則に基づいて以後の診療の計画を立案することができる。

- 5) 循環器内科領域で用いられる主要な検査（心臓超音波検査、心臓カテーテル検査など）について、概要、有用性、限界、危険性を説明し、結果を解釈できる。
- 6) 循環器内科領域における主要疾患について、症候、病態、診断、治療を説明できる。
- 7) 収集した情報を基に、POMR<問題志向型診療記録>を作成できる。
- 8) 症例を要約する習慣を身につけ、状況に応じて適切な長さで提示することができる。
- 9) 診療に必要な知識・情報（MEDLINE やインターネット上で公開されている各種の診療ガイドライン等の電子化情報を含む）を、適切に検索・収集することができる。
- 10) 医療チームの構成や各構成員（医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと（サンダルは禁止）。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 4) 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。
- 5) クラブ活動、バイト活動をしている場合、その旨を言ってもらっても構わないが、確約はできない。
- 6) 十分睡眠をとって来ること。特に外来中に眠そうな態度は慎むべきである。

【実習の内容】

- 1) 第1週の月曜日午前中にオリエンテーションを行う。
- 2) 第1週の月曜日に指導医を割り当てるので、以後は実習期間中、常時指導医と行動を共にすること。指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、主治医団の1人として入院から退院までの医療に参加すること。具体的にどのような診療行為を行うかは、逐一指導医の指示を仰ぐこと。
- 3) 病歴聴取や診察で得た所見、また、その後行われた検査の結果や今後の治療方針など、主治医がカルテに記載すべき事柄については、すべて学生用の紙カルテに記載すること。これは医師が実診療に使うカルテ（電子カルテ）とは別物であるが、主治医として実際

に診療用のカルテを書いているつもりで、すべての情報を漏らさず正しい書式で記載すること。

- 4) 水曜日午前の回診の際には、患者の概要と現在の治療の進行状態を簡潔に指導医に提示すること。また、月曜日午後（祝日の場合は火曜午後）カンファレンスでは既定の時間内で発表できるよう患者情報をまとめ、事前に準備しておくこと。

【当科の週間スケジュール】 2023 年度（2024 年度については変更となる可能性あり）

	行事、等	担当	場所	時間
月	リエンション（第1週）	寺川主任部長	病棟カンファレンス室	08:30-09:00
	心臓超音波検査	内村 部長	心臓超音波室	09:00-12:00
	症例カンファレンス	橋本 医長	病棟カンファレンス室	13:30-15:00
火	抄読会	当番医師	病棟カンファレンス室	08:00-08:30
	心臓超音波検査	大下 部長	心臓超音波検査	09:00-12:00
	運動負荷検査	当番医師	生理検査室	14:00-15:00
	病棟カンファレンス	寺川主任部長	1階食堂	15:00-15:30
水	回診	寺川主任部長	病棟、RI 検査	09:00-11:00
	心臓カテーテル検査	寺川主任部長	血管造影室	13:30-16:30
木	外来診察	寺川主任部長	外来	09:30-12:00
	心臓超音波検査	内村 部長	心臓超音波室	09:00-12:00
	心臓リハビリ	部長	心臓リハビリ室	14:00-16:00
金	回診	寺川主任部長	病棟、RI 検査	09:00-11:00
	心臓カテーテル検査	寺川主任部長	血管造影室	13:30-16:00
	カテカンファレンス	寺川主任部長	血管造影室	16:00-16:30
	試問（第2 or 4週）	寺川主任部長	血管造影室	16:00-17:00

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	30点
回診での患者提示のでき具合	10点

カンファレンスでのプレゼンテーション	10 点
学生用カルテの内容	10 点
ポートフォリオの内容	20 点
部長試問	20 点

【実習指導医】

- 1) 寺川 宏樹 循環器内科 主任部長

専門：虚血性心疾患、心不全

日本循環器学会専門医、日本心血管カテーテル治療学会専門医、日本超音波学会専門医・指導医、日本核医学会専門医、日本高血圧学会専門医・指導医、日本脈管学会専門医、日本動脈硬化学会専門医・指導医

- 2) 内村 祐子 循環器内科 部長

専門：不整脈、循環器一般

日本循環器学会専門医

- 3) 大下 千景 循環器内科 部長

専門：心臓超音波、循環器一般

日本循環器学会専門医、日本超音波学会専門医・指導医、日本心エコー図学会専門医

- 4) 橋本 悠 循環器内科 医長

専門：循環器一般

日本循環器学会専門医

【参考図書、文献】

- 1) 内科学 第12版 朝倉書店

- 2) ハリソン内科学 第5版

- 3) Braunwald's heart disease 第12版

- 4) 日本循環器学会の診療ガイドライン一覧の URL

<http://www.j-circ.or.jp/guideline/index.htm>

- 5) インターネットでの文献検索(医学中央雑誌、UpToDate など)

臨床実習Ⅱ（医療法人 JR 広島病院 呼吸器内科）

文責：医療法人 JR 広島病院 呼吸器内科主任部長 峠岡康幸（たおおか やすゆき）

当科についての基本情報：JR 広島病院の前身は、大正 9 年に設立された広島國鉄診療所であり、広島県内でもっとも歴史の古い病院の一つです。現在も年間 1,000 件以上の救急車を収容する広島市東部の基幹病院として 1 次・2 次の救急診療を担当しています。呼吸器内科は日本呼吸器学会認定教育施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本病院総合診療医学会認定施設に認定されており、呼吸器疾患全般と一般内科疾患（総合診療）の外来・入院・急患診療に従事しています。

疾患：common disease と呼ばれる一般内科疾患や呼吸器疾患の診断・鑑別・治療について学会作成のガイドラインに準拠した診療を行っています。とくに肺炎・感染症、COPD、気管支喘息、睡眠時無呼吸症候群の診療について多数の患者の診療を行っています。

臨床実習Ⅱの実習内容：指導医、初期研修医といっしょに入院患者の診療に参加します。対象とする患者は呼吸器疾患以外に一般内科疾患患者もありますので一般内科疾患（総合診療）の診療実習を経験することが可能です。研修期間中に医療推論（診断学）や胸部画像読影のセミナーも行います。

1 週間の研修医のスケジュール

月

9:00～12:00 外来見学（再診外来で外来の見学を行います）

15:00～16:00 セミナー（呼吸器内科疾患各論）

午後 入院患者の診療・検査、救急患者の診療を常勤医・初期研修医と一緒にこないます

火

9:00～12:00 実習レポート作成・入院患者の診療・検査、救急患者の診療を常勤医・初期研修医と一緒にこないます

午後 入院患者の診療・検査、救急患者の診療を常勤医・初期研修医と一緒にこないます

水

9:00～12:00 外来見学（再診外来で外来の見学を行います）

13:30～ 気管支鏡検査（見学）

15:00～16:00 セミナー（胸部画像読影）

午後 入院患者の診療・検査、救急患者の診療を常勤医・初期研修医と一緒にこないます

木

9:00～12:00 外来見学（再診外来で外来の見学を行います）

午後 入院患者の診療・検査、救急患者の診療を常勤医・初期研修医と一緒にこないます

13:00～15:00 専門外来見学（睡眠時無呼吸症候群専門外来・禁煙外来）

金

9:00～12:00 外来見学（再診外来で外来の見学を行います）

13:30～14:30 新入院患者の病棟カンファレンスに参加

午後 入院患者の診療・検査、救急患者の診療を常勤医・初期研修医と一緒にこないます

リウマチ・膠原病内科

【リウマチ膠原病内科の特性】

- 1) 当院は広島市東区の中核病院であり、当科は東区で唯一のリウマチ・膠原病内科であるため東区を中心に同領域の診療にあたっている。リウマチ専門医は広島市内でもまだ少なく東区以外の地域や三原、岩国方面などの遠方からも来院されているため、症例が豊富である。
- 2) リウマチ・膠原病疾患は感染症と切り離せない関係にあり緊急的な感染症治療にも対応しているため、リウマチ膠原病領域と合わせて感染症診療についても経験することができる。
- 3) リウマチ膠原病疾患は全身疾患であり、トータルケアが必須である。特に当科では他職種専門職チームでの介入を目指しており、各職種に当科専門資格の認定スタッフがおおり質の高い医療を提供しつつ、実習生、新卒者、初期研修医などの初学者にもわかりやすい研修も定期的に行っている。

【一般目標】

診療チームに参加し、その一員として診療業務を担当することによって、医師としての職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を学ぶことを目標とする。

リウマチ・膠原病内科は、主として関節リウマチや全身性エリテマトーデスを代表とする各種全身性自己免疫疾患の診断と治療を専門とする診療科であり、リウマチ膠原病内科の臨床実習では炎症、免疫の病態に関する理解と、全身を広く見渡すきめ細かい診療姿勢、ならびに、免疫抑制療法の選択と管理について学ぶことを目指す。

【実習目標】

- 1) 病歴の聴取や患者診察など、内科診療の基本を学習する。
- 2) 基本的な診療知識に基づき、患者および家族から診療に必要な情報を収集し、取捨選択して整理する。
- 3) 問題指向システムについて理解し、実行する。
- 4) 臨床検査、画像診断、尿検査などを学習し、検査データを解釈する。
- 5) リウマチ・膠原病疾患に特徴な身体所見について学習する。

【実習内容】

- 1) 入院患者を受け持ち、診療チームの一員として患者の診療に参加。指導医の指導・監視の下に診察、治療計画の策定、診療記録などを行う。
- 2) 受け持ち患者の病歴要約を作成して下さい。具体的には指導医、病棟主治医の指導のもとで、主訴、病歴などの問診、身体所見、検査所見、入院後経過、考察を整理する。

【当科の週間スケジュール】

	行事、等	担当	場所	時間
月	オリエンテーション (第1週) 回診	山崎 医師 大本 医師 小山 医師	外来 病棟	9:00-9:15 9:15-12:00 13:30-17:00
火	外来 回診	山崎 医師 大本 医師 小山 医師	外来 病棟	8:30-12:00 13:30-17:00
水	回診 レクチャー(膠原病)	山崎 医師 大本 医師 小山 医師	病棟 外来	9:00-10:00 13:30-17:00
木	外来 外来カンファレンス	山崎 医師 大本 医師 小山 医師	外来 化学療法室	8:30-12:00 16:00-16:30
金	回診 外来、まとめ	山崎 医師 大本 医師 小山 医師	病棟 医局	13:30-16:00 9:00-12:30

【評価】

リウマチ・膠原病内科では実習目標に掲げた5つの点について、各20%の配分で評価します。

【実習指導医】

- 1) 山崎 聡士 リウマチ・膠原病内科主任部長
専門：リウマチ、膠原病疾患
日本リウマチ学会専門医・指導医、日本内科学会内科認定医
- 2) 大本 卓司 リウマチ・膠原病内科医長

専門：リウマチ、膠原病疾患
日本専門医機構認定内科専門医

3) 小山 雅子 リウマチ・膠原病内科医師
専門：リウマチ、膠原病疾患

【緊急連絡先】

JR 広島病院(代表) [TEL:082-262-1170](tel:082-262-1170) リウマチ・膠原病内科
院内 内線 山崎(9054)、大本(9302)、小山(9067)

臨床実習Ⅱ

JR 広島病院

外科

《実習目標》

JR 広島病院は広島市東区唯一の総合病院であり、広島駅に近い良好な立地条件の下、新病院移転により新たな診療部門（緩和ケア病棟、人工透析室、化学療法室、健診センターなど）も加わり、さらなる癌診療の強化など地域医療の発展のため努力している。外科は手術が中心の診療科であるが、新たな診療部門における外科医の役割も大きく、他科との連携も含めた全病的なサポートを学ぶことも重要である。

甲状腺・乳腺外科、一般外科、消化器外科（胃、大腸、肝胆膵など）など幅広く手術を見学し、緊急手術（急性虫垂炎、消化管穿孔など）の対応も学ぶ。手術のみならず、術前診断および病態や術式を理解し、手術患者や家族との良好な意思疎通に努め、輸液療法などを含めた術後全身管理や合併症に対する早期診断や処置などの一連の経過を、患者と共に体感し学ぶ。

都市部の総合病院であるが、市内の4大病院に比較し規模が小さい反面、細かい所に目が届くような手作り感があり、院内の雰囲気もよく、平静な心をもって実習できる。

《到達目標》

- ① 術前患者の問診、身体診察が適切にでき、術前画像診断や検査結果を説明し疾患・病態・術式を理解する。術前カンファレンスにて受け持ち手術患者の症例呈示をして、疑問点や治療計画等について説明発表できる。
- ② 手術に参加し、術前に得た解剖学的知識や画像診断と照らし合わせ、肉眼的な立体的構造を理解し、安全な手術の進め方を感じることができる。
- ③ 術後の輸液療法、心肺疾患・糖尿病などの併存疾患の治療を含めた全身管理の重要性を認識し、術後合併症に対する処置の意義を理論的に理解する。
- ④ 患者とその家族に誠実にふれあい良好な意思疎通ができ、適切な信頼関係をつくることができる。
- ⑤ 縫合・糸結びなどの外科基本手技、手洗い含めた清潔不潔を意識したガウンテクニックができる。

- ⑥ 受け持ち患者の症例の診断、手術、術後経過を要約し、疾患や治療についての教科書的理解や文献的考察を行い、自分なりに得た知見・感想を含めたレポートを指導医に提出できる。

《実習内容と日程》

実習内容と日程は、指導医の予定や手術内容などにより変更あるため、基本的に朝 8:30 のオリエンテーションで確認する。

病棟患者の超音波や術後透視検査と処置、外来患者の小手術などは随時あるため、指導医の指示により参加する。

月曜日

- 8:30－ 8:45 オリエンテーション（医局、担当指導医）
- 9:00－12:00 手術（手術室、担当術者）
- 13:00－17:00 手術（手術室、担当術者）

火曜日

- 8:30－ 8:45 オリエンテーション（医局、担当指導医）
- 9:30－10:00 外科病棟回診（外科病棟、担当回診医）
- 10:00－12:00 外来診察・検査（外科外来、担当外来医）
- 13:00－14:00 病棟カンファレンス（外科病棟、多職種による）
- 14:00－16:00 甲状腺外来（外科外来、担当外来医）
- 17:00－17:30 消化器カンファレンス（内科放射線科ほか合同）

水曜日

- 8:00－ 8:30 術前カンファレンス、カルテ回診（外科外来、担当指導医）
- 8:30－ 8:45 オリエンテーション（医局、担当指導医）
- 9:00－12:00 手術（手術室、担当術者）
- 13:00－16:00 手術（手術室、担当術者）

木曜日

- 8:30－ 8:45 オリエンテーション（医局、担当指導医）
- 9:15－ 9:45 外科病棟回診（外科病棟、担当回診医）
- 10:00－12:00 外来診察・検査（外科外来、担当外来医）
- 14:00－15:00 栄養サポートチーム回診（カンファレンスルーム、担当指導医）
- 15:00－17:00 手術（手術室、担当術者）

金曜日

8:30－ 8:45 オリエンテーション（医局、担当指導医）
9:00－12:00 手術（手術室、担当術者）
13:00－17:00 手術（手術室、担当術者）

《評価項目のポイント》

下記ポイントを中心に指導医が評価し診療科長に報告して決定する。

- ① 遅刻・出欠席および実習への積極的参加の有無
- ② 基本的外科手技と医学的知識の獲得
- ③ 適切な身だしなみ・服装と患者への診療態度
- ④ 患者および家族との信頼関係の構築力
- ⑤ 受け持ち患者のレポートの内容や症例のプレゼンテーション能力
- ⑥ 指導の受け入れ能力・行動内容

医学生アドバンストコース

研修プログラム

人工透析外科

《実習目標》

腎疾患の基本的な問診・視診・触診・聴診技術や基本的な検査の実施・判読等の習得を目標とします。腎疾患は、高血圧症、糖尿病、脂質代謝異常、水電解質・酸塩基平衡異常、貧血、骨・ミネラル代謝異常、心血管疾患、消化器疾患、神経疾患、悪性腫瘍、感染症等さまざまな合併症を有するため、腎疾患のみならず総合的な知識や経験を身に付けることが可能です。さらに、本プログラムは慢性維持透析（血液透析、腹膜透析）、さらに急性血液浄化法の実習も行います。診療チームの一員として実診療に参加し、患者さんの診療を担う医療従事者としての役割と責任を体感する。

《到達目標》

- (1) 患者さんの情報を収集し、主訴、現病歴、家族歴、既往歴、身体所見を正確に記載できる。
- (2) バイタルサイン、胸腹部の診察など、患者さんの基本的な身体診察ができる。
- (3) 腎疾患の診療のために必要な基本的検査・手技の理解と習得をはかる。
- (4) 代表的腎疾患の病態、診断および治療を理解する。
- (5) 腎代替療法（透析、腎移植）について理解し患者さんへ説明できる。

《実習内容と日程》

【病棟実習】

月曜から金曜まで病棟での実習を行う。主治医たる指導医のもと、副主治医の心構えで実習を行う。

【透析センター実習】

患者管理、機器操作について指導医のもと実習する。

【外来実習】

必要に応じて指導医のもと、実習する。

【検査・手術】

指導医のもと、助手として参加する。血液透析カテーテル挿入術、透析シャント作製・再建術、経皮的血管形成術（シャント PTA）、腹膜透析カテーテル留置術

【カンファレンス】

月・水・金曜日 15:15 透析カンファレンス、金曜日 15:45 症例検討会

※適宜、レクチャーを行う

【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	病棟 透析センター	病棟 透析センター	シャント PTA	外来、病棟 透析センター	病棟 透析センター
午後	外来、病棟 透析カンファレンス	シャント PTA	病棟、透析センター 透析カンファレンス	シャント PTA	透析カンファレンス 症例検討会
その他	※HD, PD アクセス関連手術は随時行っている				

《評価項目のポイント》

下記ポイントを中心に指導医が評価し決定する。

- ① 遅刻・出欠席および実習への積極的参加の有無
- ② 適切な身だしなみ・服装と患者への診療態度
- ③ 基本的手技と医学的知識の獲得
- ④ 患者および家族との信頼関係の構築力
- ⑤ 担当患者のレポート内容や、症例のプレゼンテーション能力
- ⑥ 指導の受け入れ能力・行動内容

JR 広島病院

整形外科

【当科の特性】

整形外科は運動器である四肢（上肢・下肢）および脊椎の疾患を治療する診療科です。当科の特徴として、脊椎疾患が最も多く、つづいて股関節・膝関節疾患および外傷（高齢者に多い大腿骨近位部骨折が増えている）の研修が可能です。脊椎疾患は、脊髄・脊髄神経の圧迫による上肢・下肢のしびれや手足の運動障害を訴えて受診されますが、診断する上で神経内科疾患との鑑別が大切となり、今まで学んだ神経学を駆使して診断にアプローチする醍醐味があるとおもいます。また、高齢化とともに関節疾患や骨粗鬆症に関連した骨折が増加していますが、高齢者に寄り添う治療を行う事で、QOLを維持・改善し健康寿命に貢献できると思います。

【一般目標】

高齢化に伴う脊椎疾患・関節疾患および骨粗鬆症関連骨折についての診断・治療を修得すること。

【到達目標】

基本的診断手技（脊椎疾患・関節疾患）を修得すること。

基本的検査手技・処置（脊髄造影・神経根ブロック・ギプス・関節注射）を修得すること。

整形外科疾患の画像の読影を修得すること。

手術の見学を行い疾患の理解を深めること。

【注意事項】

清潔な服装を着用し、患者家族およびスタッフには礼節のある対応をし、個人情報の管理には留意すること。

【研習の内容】

外来 指導医の診察につき、問診聴取、神経学的診察および画像から診断をおこない治療方針の立て方を修得する

病棟 指導医のもとで患者を受け持ち、疾患を理解し治療方針を立て、患者家族と対人関係を築くこと。

手術 指導医のもとで受け持ち患者の手術の実際を見学する。

	月	火	水	木	金
8:30	打ち合わせ・回診				
午前	外来・手術	外来・手術	外来・手術	外来・手術	外来・手術
午後	手術	手術・ 病棟回診	手術	検査	手術
夕方		術前カンファレンス			

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

医療者としての姿勢、メディカルスタッフとのコミュニケーション (40)

経験した整形外科疾患の理解度、担当患者のプレゼンテーション (30)

学生用カルテの記載内容 (30)

【実習指導医】

田中信弘 整形外科主任部長
 脊椎脊髄外科専門医
 日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医
 日本整形外科学会認定整形外科専門医
 日本整形外科学会脊椎脊髄病認定医
 日本整形外科学会認定スポーツ医

小林孝明 リハビリテーション科主任部長
 整形外科専門医
 日本体育協会公認スポーツドクター
 日本整形外科学会認定スポーツ医
 運動器リハビリテーション医
 日本骨粗鬆症学会認定医
 日本旅行医学会認定医
 日本職業・災害医学会労災補償指導医

田島稔章 整形外科医長
 日本整形外科学会認定整形外科専門医

岩佐 和俊 整形外科医長

川口 修平 整形外科医師

今井 寛人 整形外科医師

JR 広島病院

泌尿器科

【実習目標】

当院泌尿器科の学生実習では腎尿管膀胱前立腺尿道の器質的および機能的疾患や尿路感染症について診断・治療を習得する。

【到達目標】

診断においては尿沈渣、血液検査データの読み取りができる。

腎膀胱前立腺のエコーが施行でき、所見の読み取りができる。

CT、MRI、骨シンチ、膀胱鏡などの画像診断の読み取りができる。

導尿手技の習得

治療においては開腹手術 腹腔鏡手術 内視鏡手術の選択判断

またその手技を見学し説明できるようになる。

【実習内容と日程】

外来：月・水・金 9:00AM 開始

病棟：月・水・金 10:00AM 回診開始

手術：火・木 9:30AM 手術室集合 月・水・金 2:00PM 手術室集合

【評価】

上記の到達目標すべてにおいて評価判定する。

❖楽しくて有意義な実習になるように最大限の指導をさせていただきます。

耳鼻咽喉科

【当院耳鼻咽喉科・頭頸部外科研修の特性・特徴】

当院は、病床数約 270 床、東区唯一の総合病院である。当院では CT、MRI などクリニックではできない検査ができるため、地元の耳鼻咽喉科開業医から紹介がある。また、耳鼻咽喉科は上気道炎、めまい、聴力、嚥下など担当範囲が広いため、内科など他科他院からの診療依頼がある。入院は、急性上気道炎、顔面神経麻痺、めまい症例などを受け入れている。手術は、慢性扁桃炎に対する手術、副鼻腔炎に対する手術を主に行っている。常勤医 2 名で目の行き届く指導をいたします。

【一般目標】

- 1) 患者・社会から信頼される医師養成のために、医療者の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考法、態度を、自らの実践の中で学ぶ。
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者およびその家族と良好な対人関係を築いて診療を進めることができるようになることを目指す。
- 3) 講義で学んだ知識を再確認し、また、講義では得られなかった、より実践的な知識を身につける。
- 4) 担当する患者の問題の理解に、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用でき、病因・病態の理解から診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につけることを目指す。
- 5) 実際の医療に直接接するなかで、自分の将来の医師像を具体的に構築する。

【到達目標（行動目標）】

- 1) コミュニケーションを通じ、患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。
- 2) 基本的な診療知識に基づき、患者および家族から診療に必要な情報を収集し、取捨選択して整理できる。
- 3) 身体診察を適切に実施し、所見を解析してその後の診療に必要な情報を収集できる。
- 4) 主要な症候を理解し、鑑別診断の原則に基づいて以後の診療の計画を立案することができる。
- 5) 耳鼻咽喉科領域で用いられる主要な検査について、概要、適応、有用性、限界、危険性を説明し、結果を解釈できる。
- 6) 耳鼻咽喉科領域における基本的疾患について、症候、病態、診断、治療を理解し、説明できる。
- 7) 収集した情報を基に、POMR<問題志向型診療記録>を作成できる。

- 8) 症例を要約する習慣を身につけ、状況に応じて適切な長さで提示することができる。
- 9) 診療に必要な知識・情報（文献検索、MEDLINE やインターネット上で公開されている各種の診療ガイドライン等の電子化情報を含む）を、適切に検索・収集することができる。
- 10) 医療チームの構成や各構成員（医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を理解し、チームの一員として参加できる。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと（手術室、検査室以外でのサンダルは禁止）。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には社会人としての礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さん、ご家族と接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 実習にあたり、常に上級医、指導医の指導・監督のもとで診療実習を実施することに留意し、報告、連絡、相談など緊密に行うこと。
- 4) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 5) 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。

【実習の内容】

- 1) 第1週の月曜日午前中にオリエンテーションを行う。
- 2) 第1週の月曜日に指導医を割り当てるので、以後は実習期間中、常時指導医と行動を共にすること。指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、入院から退院までの医療に参加すること。具体的にどのような実地診療行為を行うかは、逐一指導医の指示を仰ぎ、決して独断では行わないこと。
- 3) 病歴聴取や診察で得た所見、また、その後行われた検査の結果や今後の治療方針など、主治医がカルテに記載すべき事柄については、すべて学生用の紙カルテに記載すること。これは医師が実診療に使うカルテ（電子カルテ）とは別物であるが、主治医として実際に診療用のカルテを書いているつもりで、すべての情報を漏らさず正しい書式で記載すること。

【当科の週間スケジュール】

	内容	場所	時間	担当
月	回診 外来見学 検査見学 カンファレンス	耳鼻科外来	8:50-9:00 9:00-12:00 14:00-16:30 16:30-17:00	宮里・廣兼
火	回診 外来見学 手術見学	耳鼻科外来 手術室	8:50-9:00 9:00-11:00 12:00-15:00 16:30-17:00	宮里・廣兼
水	回診 外来見学 検査見学 カンファレンス	耳鼻科外来	8:50-9:00 9:00-12:00 14:00-16:30 16:30-17:00	午前：宮里 午後： 宮里・廣兼
木	回診 外来見学 検査見学 カンファレンス	耳鼻科外来	8:50-9:00 9:00-12:00 14:00-16:30 16:30-17:00	午前： 宮里・廣兼 午後：廣兼
金	回診 外来見学 検査見学 カンファレンス	耳鼻科外来	8:50-9:00 9:00-12:00 14:00-16:30 16:30-17:00	宮里・廣兼

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
指導医による学生の実習内容の評価	50点
回診での患者提示のでき具合	10点
カンファレンスでのプレゼンテーション	10点
学生用カルテの内容	10点
ポートフォリオの内容	10点
主任部長による知識、行動評価	10点

【実習指導医】

宮里 麻鈴 主任部長
廣兼 桜 医師

臨床実習

JR 広島病院

緩和ケア科

《実習目標》

がん診療を推進する上で、緩和ケアの役割は重要である。がん対策基本法、がん対策推進基本計画など、国も現場医師に対し、その認識を強く求めている。命ではなく生に重きを置き、より広い視野で病に苦しむ人と対峙する姿勢が望まれるところである。そこで、多くの病院では緩和ケアチームを配置し、がん診療に平行して関わりを持つことを進めている。緩和ケア病棟においては、もっと踏み込んだ状況において、強い痛みを持つ方々へ全人的アプローチを果たすべく設備の環境も含め工夫をしている。

当科においては、多職種（宗教家、臨床心理士、ソーシャルワーカー、栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、看護助手、看護師、医師など）による関わりを目の当たりにしてもらい、医師以外の支援の重要性を実感してもらいたい。

広島では設置の少ない緩和ケア病棟のひとつとして、東区のみならず県外からも要望が集まっている。すなわち、病に苦しむ多くの方に出会える（教えを頂く）機会を持てる環境にある。これからの超高齢化とがん社会の中で、病でなく生きることにどう関わるかを考える機会にしてもらえれば幸いである。

《到達目標》

- ① 患者の問診、身体診察を適切に行い、画像や検査結果との関連を理解する。
- ② 患者、家族と関わる中で苦悩はどこにあるのか、何を人生の望みとしているのか等のアプローチをする。
- ③ 身体的苦悩に対し、適切な判断と対応策を提案する。
- ④ 精神的苦悩はどこにあるのかアプローチし、多職種との連携を通して緩和する方法を探る。
- ⑤ 患者、家族の社会的ニーズを探る中で、それを果たすための手段の一つとして社会支援について知識を広める。
- ⑥ 受け持ち患者の経過、全人的苦痛（身体、精神、社会的、スピリチュアル）への対応策を総括し、研修中に知りえた知見・感想を含めたレポートを指導医に提出する。

《実習内容と日程》

月曜日

- 8:00－ 8:30 オリエンテーション（初日のみ）
- 8:30－ 9:00 カンファレンス（7F 詰め所、指導医）
- 9:00－12:00 新入院症例診察等
- 13:00－17:00 講義、病棟処置など

火曜日

- 8:30－ 9:00 カンファレンス（7F 詰め所、指導医）
- 9:00－12:00 新入院症例診察等
- 13:00－17:00 外来（27 診、指導医）

水曜日

- 8:30－ 9:00 カンファレンス（7F 詰め所、指導医）
- 9:00－12:00 新入院症例診察等
- 13:45－17:00 多職種カンファレンス（症例のプレゼンテーション）
＋講義（7F 詰め所）

木曜日

- 8:30－ 9:00 カンファレンス（7F 詰め所、指導医）
- 9:00－12:00 新入院症例診察等
- 13:00－17:00 イベント＋講義（7F 詰め所）

金曜日

- 8:30－ 9:00 カンファレンス（7F 詰め所、指導医）
- 9:00－12:00 新入院症例診察等
- 13:00－17:00 外来（27 診、指導医）

《評価項目のポイント》

下記ポイントを評価する。

- ① 遅刻・出欠席および実習への積極的参加の有無
- ② 緩和ケア概念の理解と具体的知識の獲得
- ③ 適切な身だしなみ、礼節、患者への診療態度
- ④ 患者および家族との信頼関係の構築力
- ⑤ 受け持ち患者のレポートの内容や症例のプレゼンテーション能力
- ⑥ 指導の受け入れ能力、行動内容

JR 広島病院

臨床実習 II（従来型および診療参加型共通）研修プログラム

病理診断科

【当院の病理診断科研修の特性】

当院では、病理診断科において、全手術材料を、手術室で切除された直後から管理している。泌尿器科症例が豊富で、特に尿路上皮癌症例が多く、膀胱腫瘍の一括切除術 TURBO (transurethral one piece resection of bladder tumor、元副院長・現非常勤医師の鶴飼鱗三医師により開発されたいわゆる“ターボ”(参考文献 Ukai R, et al. J Urol 2000;163:878-879))による内視鏡切除材料を鏡検する機会は当院が県内唯一である。その他、難治性の皮膚炎症性疾患の生検、消化器（特に胃および大腸）の生検、内視鏡的切除、消化器外科材料、および甲状腺手術材料が多く、整形外科の腫瘍を含む脊椎脊椎疾患の手術、気管支鏡下生検、そして心筋生検材料を評価・診断する機会があることも特徴である。当科は、2008年度より日本病理学会の認定施設（病理解剖症例の関係で、2012年度より登録施設）であり、現在は新専門医制度の広島大学病院病理専門医プログラムの連携施設である。2009年度より、日本臨床細胞学会の細胞診専門医教育研修施設に認定されている。

【一般目標 General Instructive Objectives (GIO)】

- 1) 医療者の一員として病理診断に従事することを通じて、病理医としての責任感、職業的な技能、思考法、態度を、みずからの実践の中で学ぶ。
- 2) 基本的な観察法およびコミュニケーション技能を身につけ、他科医師、臨床検査技師、看護師、および看護助手と良好な対人関係を築いて病理診断を進めることができるようになることを目指す。
- 3) 講義で学んだ知識を再確認し、また、講義で得られなかった、より実践的な知識を身につける。
- 4) 担当する患者の検体の診断およびコメントに、今まで学んできた生命科学の知識を応用できる、すなわち機能的な形態診断学の実践を目指す。
- 5) 病理診断業務の中から生じる疑問点を解明しようとするリサーチマインドを身につける。

【到達目標（行動目標） Specific Behavioral Objectives (SBOs)】

- 1) 病理診断依頼書に記載された臨床情報および要望を理解し、説明することができる。
- 2) 病理組織診断用検体の適切な提出法と固定法を説明できる。
- 3) 検体採取から病理診断までの一連の作業を説明できる。
- 4) 手術材料の切り出し（組織学的観察を行う部分の採取）を指導医とともに施行できる。
- 5) 国際標準的な教科書を参照しながら、典型的な腫瘍症例の最終診断を下せる。

- 6) 既診断症例の臨床像、肉眼および組織所見について自ら深く学び、解説することができる。
- 7) 術中迅速診断における臓器提出から診断報告までの過程を述べるができる。
- 8) 細胞診の役割、検体提出の方法、および診断作法を説明できる。
- 9) 免疫組織化学、電子顕微鏡、コンパニオン診断（遺伝子診断）の役割を説明できる。
- 10) 臨床検査技師および細胞検査士との協働できる。

【実習方略 Learning Strategies (LS)】

1) オリエンテーション

- 第1週の月曜日の午前中にオリエンテーションを行い、ポートフォリオを配布する
- 実習期間中に調べたことや検索した文献等すべて綴じ込むこと
- 実習中は指導医の指示に従い、検体提出から診断確定までの過程に参加すること

2) 報告書記載の実践

- 肉眼臓器、組織所見、および診断等を、学生用の紙報告書に記載する
- 追加でおこなうべき免疫組織化学、電子顕微鏡、およびコンパニオン診断の項目を指摘する
- 自身が作成した報告書と指導医とともに作成する最終病理診断報告書と比較する
- ベテランの細胞検査士と指導医でおこなう細胞診サインアウトに参加し、細胞診報告書の作成および返却過程を学ぶ

3) プレゼンテーション学習

- 院内カンサーボード等カンファレンスで病理診断に関する内容を分担し、発表する
- 午前中の抄読会では、論文の背景にまで踏み込んだプレゼンを行う

4) ポートフォリオ

- 毎日記載し、毎日帰宅時あるいは翌朝に指導医のコメント・署名をもらうこと

5) 週間スケジュール：月曜から金曜まで、原則として、以下の通り

- 午前9時00分から15分間：NEJMや国際的な外科病理学の雑誌の総説や原著論文の抄読会
- 午前9時15分から正午まで：病理組織診・細胞診サインアウト、組織標本の鏡検および診断等
- 午後1時以降：指導医の下で、切り出し、組織標本の鏡検および診断等

注1) 実習期間中、病理解剖の依頼があれば、随時、見学あるいは介助に参加する。

注2) 術中迅速診断は随時、見学する。

注3) 院内開催される病院全体あるいは臓器別のカンファレンスへの参加が望まれる。

病院全体あるいは臓器別のカンファレンスには、以下が該当する

- ・院内剖検症例検討会（いわゆるCPC年4回程度、最終月曜日午後4時30分より）
- ・院内DEATH CONFERENCE（CPCが開催されない月、最終月曜日午後4時30分より）
- ・院内カンサーボード（毎週火曜日午後5時以降、消化器カンファレンス後）
- ・消化器カンファレンス（毎週火曜日午後5時より）

- ・甲状腺等外科症例カンファレンス（第1週木曜日午後3時より）

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートをつけ、靴を履くこと（サンダルは禁止）。
- 2) 医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務、個人情報の管理に留意すること。
- 4) やむを得ず欠席あるいは遅刻する場合は必ず届け出ること。
- 5) 臓器を扱う際は常にゴム手袋を着用すること。
- 6) 教科書および病理組織アトラス等教育媒体および筆記具を持参すること。
- 7) 研修中にけがをした場合はすぐ申し出ること

【評価 Evaluation】

到達目標（SBOs）10項目が実習中にどの程度まで達成されたかを評価する

- （1）指導者（指導医および臨床検査技師（細胞検査士））による医療者としての行動（20点）
- （2）紙報告書の内容の評価（20点）
- （3）ポートフォリオの内容の評価（20点）
- （4）病理診断領域に関する知識・理解度（20点）
- （5）病理診断科内での態度全般（20点）

以上の5項目について採点して総合評価（100点満点）を行う。

【実習指導医】

中山 宏文 教育研修部長・診療部臨床検査科主任部長

広島大学医学部医学科 平成元年卒

博士（医学）（広島大学）

広島大学医学部臨床教授

厚生労働省死体解剖資格

日本専門医機構および日本病理学会病理専門医・病理専門医研修指導医

日本臨床細胞学会細胞診専門医・教育研修指導医・教育研修責任者

日本臨床検査医学会臨床検査管理医

厚生労働省医政局長臨床研修指導医

厚生労働省医師臨床研修プログラム責任者

専門領域：病理診断（特に消化管、表在性軟部組織）、脂肪肝炎、全身間質組織

【参考図書、文献】

以下に代表的なもののみ示します。実習中に他の成書や論文を紹介させていただきます。

- 1) Rosai and Ackerman's Surgical Pathology, 11th Edition, Mosby, 2018.
- 2) UICC TNM Classification of Malignant Tumours, 8th Edition, Willey-Blackwell, 2016.
- 3) 外科病理学、第5版、文光堂、2020年
- 4) 領域横断的がん取扱い規約、第1版、2019年
- 5) 日本国内の学会編集の全身諸臓器（胃、大腸、肝、肺、乳腺、子宮等）の癌の取り扱い規約
- 6) 海外の外科病理学および一般総合医学の欧文雑誌：Modern Pathology, American Journal of Surgical Pathology, American Journal of Clinical Pathology, Human Pathology, Histopathology, NEJM, Lancet 等